

エイジフレンドリー補助金活用事例② ～段差の解消、手すり設置～

業種	卸売業
事業所労働者数	約30名(60歳以上4名)

厚生労働省



東京労働局

補助金の概要

利用コース：総合対策コース
 対策内容：専門家によるリスクアセスメント（RA）を踏まえ、優先度の高い対策（転倒防止）の実施
 補助金額：対象費用の4/5

補助金活用の経緯

業界団体から補助金の情報提供を受け、施設の老朽化対策等で制度活用を検討、専門家の意見を聞くため、総合対策コースを選択した。

R7.7

交付申請
(RA実施計画
や経費見積)

R7.8

交付決定

R7.9

専門家によるRAを実施
(結果書発行)

R7.9

交付申請
(RAに基づく災害防止対策)

R7.10

交付決定

R7.11

業者に工事を発注

R7.11

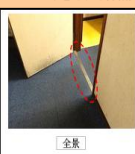
工事施工完了

R8.1

補助金確定・振込

補助金を活用した対策の内容

専門家によるRAの実施

予想される労働災害の発生リスク		
2階男子トイレ入口に約5cmの段差があり、段差に足を引掛けて転倒し発症する。		リスクレベル Ⅳ
移動時、段差に足を引掛ける。		
勾配の設置（赤色囲み）		
労働災害防止対策		優先度
 ・工学的対策 ・リスクレベル 1		優先度 高

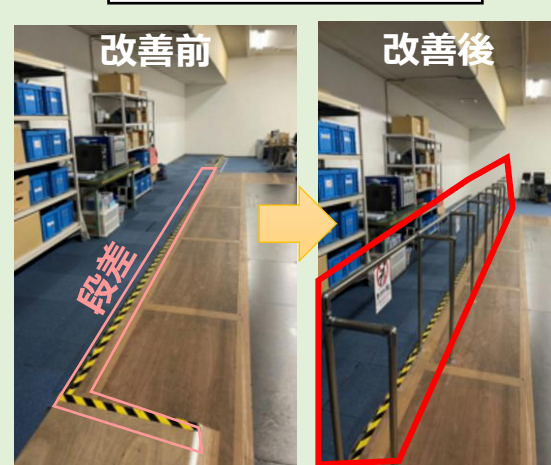
【専門家によるRA】
 リスクレベルが高く、本質的対策による効果が高い為、優先してリスク低減を図ることができると考えられる。



改善事例①



改善事例②



労働者からの声

- ・段差を踏み外して転びそうになったことがあったが、段差がなくなりほっとしている
- ・手すりがあることで足を踏み外す心配がなくなった。

対策を行ってからの効果

通行が多い箇所の改善がされたことで、安心感が高まった。
 専門家を活用することで、危険度が高く、対策の効果の高いリスクに対して対策を取れた。

補助金を活用した感想・意見

総合対策を活用し、専門的知見を有するコンサルタントのRA評価は優先事項の選定において意義深い。
 補助率が高く、申請も煩雑でなく、活用しやすい。

エイジフレンドリー補助金を積極的に活用し、働く高年齢者の対策を進めて下さい！